

知っていますか？住宅火災を予防するポイント

新型コロナウイルス感染症予防のため、市民の皆様がご自宅で過ごす時間が多くなっています。そして、手指消毒のためのアルコール消毒液を使用する機会も増えています。

今年1月から4月^{※1}までの住宅火災件数は、昨年と比較して25件増加しています。

また、過去10年間で、横浜市においてアルコールに起因する火災は24件発生しており、そのうちアルコール消毒液に起因するものは4件^{※2}発生しています。

※1 4月27日現在

※2 住宅で1件発生、飲食店で3件発生。いずれも火気使用中に、アルコール消毒液をこぼしたり、清掃のため散布して引火したものの。

これからゴールデンウィークに入り、ご自宅で火を使う機会がさらに増えることが想定されるため、ご自宅における火災予防のポイントをまとめました。

是非、ご確認していただき、火災に気をつけてお過ごしください。

① 消毒用アルコールを使用する際の注意点

アルコール消毒液は引火性があり、使用方法を誤ると火災につながる可能性があります。使用の際は、以下の点に十分注意しましょう。

- ・ 引火しやすい液体のため、絶対に火気の近くでは使用しないようにしましょう。
- ・ 室内の消毒や消毒用アルコールの容器詰替え等により、可燃性蒸気が滞留するおそれのある場合には、通風性の良い場所や換気が行われている場所等で行いましょう。
- ・ 密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧はしないようにしましょう。
- ・ 容器を設置・保管する場所は、直射日光が当たる場所や高温となる場所は避けましょう。
- ・ 消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、こぼしたり、あふれないように注意しましょう。

② コンロを使用する際の注意点

在宅の時間が増え、ご家庭で調理する機会が増えるため、以下について、もう一度確認しましょう。

- ・ 電話や来客などで少しの間でもコンロから離れる際は、必ず火を消すようにしましょう。
- ・ コンロの周りには、燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ・ 使用しない時は、必ずガスの元栓を閉めるようにしましょう。



③ 着衣着火に注意

調理中に、コンロの火が袖口に燃え移るなど、着ている服に着火した火災を着衣着火と言います。衣服に火が燃え移ると、重度のやけどや死亡事故につながる可能性がありますので十分注意しましょう。



裏面あり

- ・ ゆったりした服での調理は避けましょう。
- ・ 調理時はアームカバーやエプロンをつけましょう。
- ・ 防災製品（火がついても燃え広がらず、火種を取り去れば消える加工がされた製品）を活用しましょう。



<対処法>

万が一、炎が衣類に燃え移ってしまったら、慌てずに落ち着いて近くの水をかけて消火するか、タオルなどで叩き消してください。

背中などで手が届かず、水による消火ができない場合は、その場に倒れて左右に転がり消してください。



④ 喫煙する際の注意点

何気なく吸っているタバコの温度は、約700℃あります。

火が完全に消えていることを確認せずにゴミ箱やビニール袋に捨ててしまうなど、ちょっとした不注意が火災につながるため、喫煙時や吸殻の始末に注意するようにしましょう。

- ・ 寝たばこは、絶対にやめましょう。
- ・ 灰皿の中には水を入れておき、周りには燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- ・ 吸い終わったら、火を完全に消すようにしましょう。
- ・ 吸い殻を捨てる時は、一度水にさらすなどして完全に火が消えたことを確認してから捨てるようにしましょう。
- ・ 空き缶や菓子の空袋などは使わず、きちんとした灰皿を使いましょう。
- ・ 灰皿にたまった吸い殻は、こまめに捨てましょう。



⑤ 火遊びに注意

子どもの火遊びが大きな火災につながる場合があります。

火の大切さや恐ろしさを教え、正しい知識を教えるようにしましょう。

- ・ マッチやライターは、子どもの手の届く所に置かないようにしましょう。
- ・ ライターにはCR(チャイルドレジスタンス:子どもが操作しにくい)機能を付けるように規制されています。CR 機能付きのライターを使用しましょう。 ※規制の対象外となるライターもあります。



【参考】住宅防火アドバイス(別添)

※横浜市民防災センターに関する記載がありますが、横浜市民防災センターは、現在臨時休館中です。

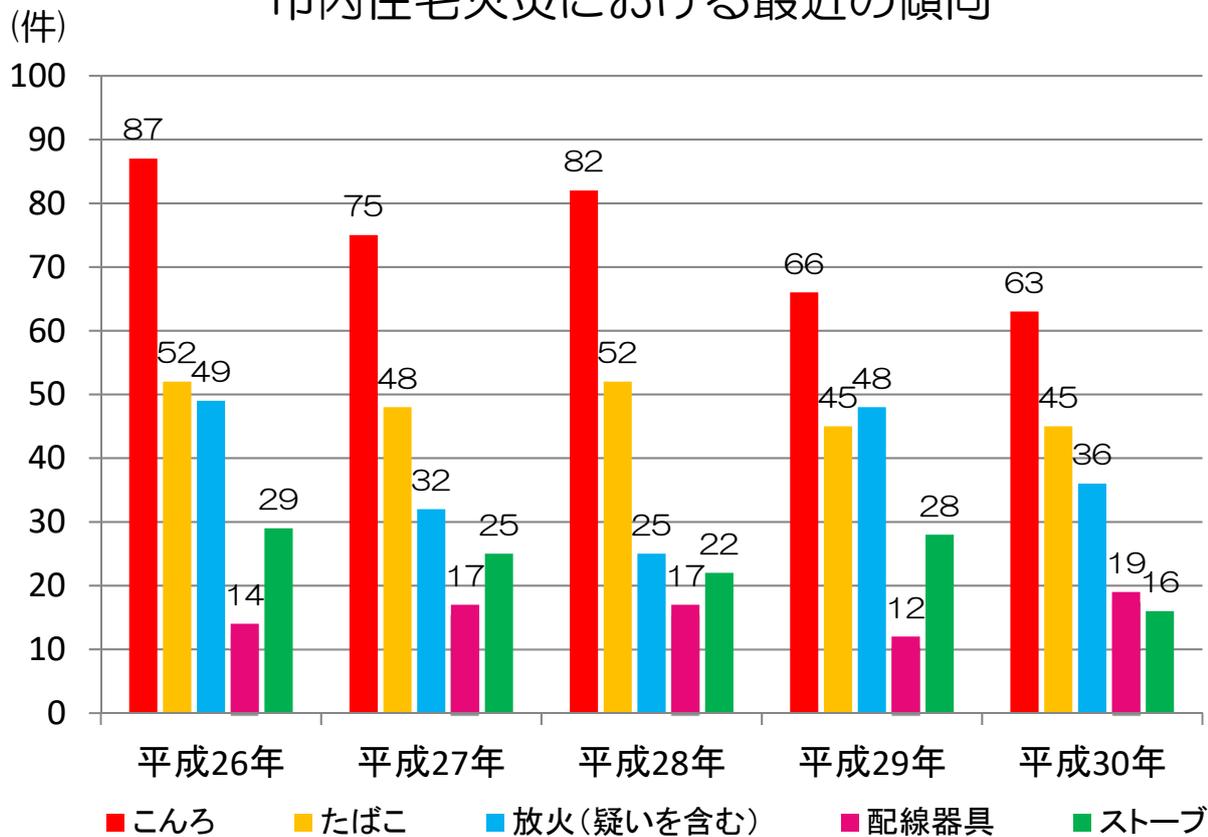
お問合せ先
消防局予防課長 和知 治 Tel 045-334-6601

住宅防火アドバイス



横浜市消防局マスコットキャラクター
「ハマくん」

市内住宅火災における最近の傾向



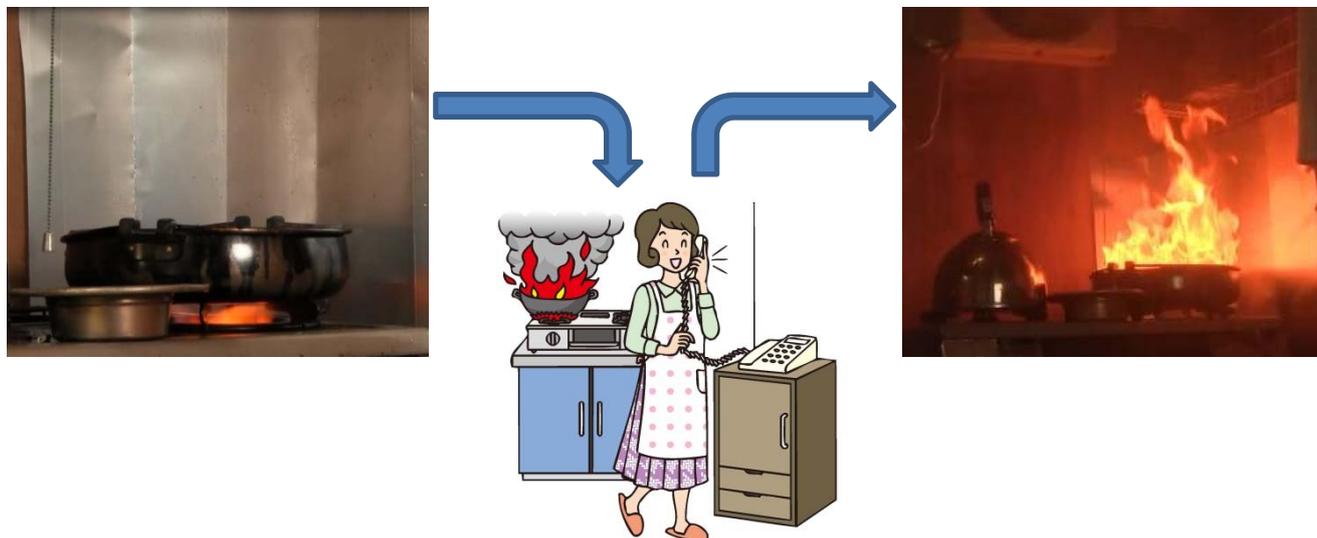
・住宅火災の件数は減少傾向にあるものの、依然として「こんろ」、「たばこ」、「放火(疑いを含む)」が火災原因の上位となっています。また、近年の電気機器の普及に伴い、配線器具を原因とする火災件数は横ばいの状態が続いています。

横浜市では毎年多くの住宅火災が発生しています。

火災の発生を防ぐためのポイントや、もし火事になってしまった時の対処法を確認して、火災の被害を減らしましょう。

住宅防火対策・・・こんろ火災

火をつけたらその場を離れないようにしましょう。



- 食用油は、約370～380℃になると自然発火します。
(油の量や火の強さにより、発火までの時間は変わります。)
- 発火した炎が周囲にあるものに燃え移ると大きな被害に繋がります。

こんろ周りやグリル内はこまめに清掃しましょう。



グリル内で出火



グリルを開け、酸素が流入したことで火災が拡大

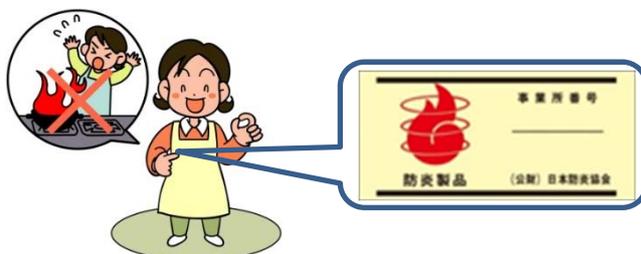
- グリル内に、魚等を焼いた際のたまった油に火がつき、火災になることがあります。

住宅防火対策・・・こんろ火災

着衣着火(着ている服に火がつくこと)に気をつけましょう。



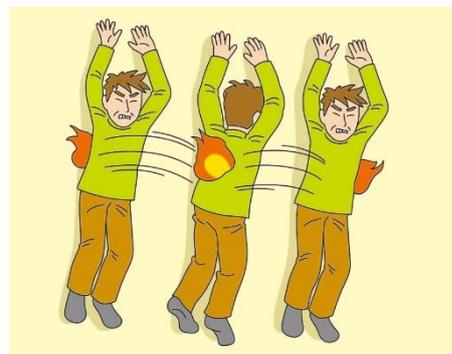
製品評価技術基盤機構より写真提供



- 調理する時はゆったりとした服や袖が広がった服を着ないようにしましょう。
- こんろの奥に調理道具や調味料を置かないようにしましょう。
- 鍋等の底から炎がはみ出さないよう適切な火力に調整しましょう。
- 火が接しても着火しにくい防火処理されたエプロンやアームカバーを使いましょう。

調理中に衣服に火がついてしまったら

- 慌てずに、落ち着いて、水をかけましょう。
- タオルなどで叩いて消しましょう。
- 背中などで手が届かない時は、その場に倒れて左右に転がりましょう。



【こんろ火災対策】

- 調理中はその場を離れないようにしている。
- 袖口をまくるなど、衣服に火が付かないように注意している。
- こんろ周りは整理整頓され、燃えやすい物を置いていない。
- グリル内はこまめに手入れし、油かすなどをためていない。
- ガスホースが劣化していない。
- 安全センサーの付いたS i センサーコンロ(※)を使用している。

※P 8参照

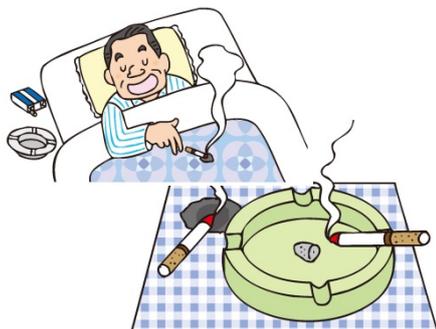
住宅防火対策・・・たばこ火災

吸い殻をそのままゴミ箱に捨てるのはやめましょう。



・吸い殻はゴミ箱に入れる前に、水に浸すなどして火が完全に消えていることを確認しましょう。

寝たばこや吸いかげのたばこを放置するのはやめましょう。



約10分後

約20分後

・寝たばこや灰皿に吸いかげのたばこを放置したことで、たばこが布団等に落下し、火災になることがあります。

【たばこ火災対策】

- 寝たばこはしていない。
- 灰皿はフチの広いものを使用している。
- 灰皿に水を入れている。
- 灰皿に吸いがらがたまっていない。
- 灰皿の周りに燃えやすい物を置いていない。
- ごみ箱に吸いがらを捨てていない。

住宅防火対策・・・放火火災

放火されない、放火させない環境を作りましょう。

・放火による火災は、横浜市内で住宅火災を含む全ての火災における火災原因で昭和60年から連続でワースト1位になっています。



ゴミは決められた日時に
出しましょう。



家の周りは照明等を点灯し、
明るくしましょう。



家の周りは整理整頓し、燃えやすい
ものを置かないようにしましょう。



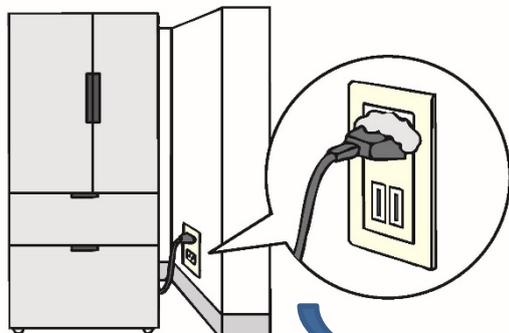
物置や車庫には鍵をかけましょう。

【放火対策】

- 家の周りは整理整頓し、燃えやすい物は置いていない。
- ごみは指定された日時・場所に出している。
- 車両のボディーカバーは「防災製品」を使用している。
- 家の周りに常夜灯や人感センサーライトを設置している。
- 物置、車庫は鍵をかけている。
- 共同住宅の廊下や階段に物を置かないよう管理している。

住宅防火対策・・・電気火災(配線機具)

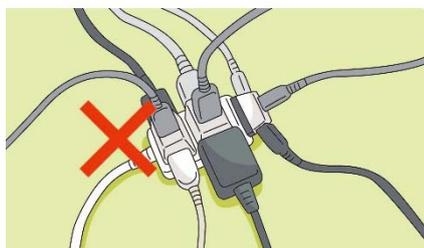
コンセントやプラグは定期的に掃除しましょう。



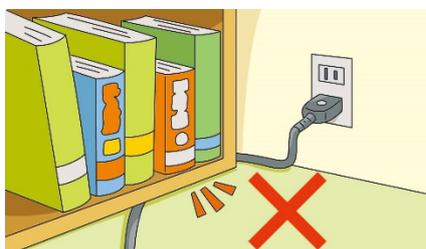
コンセントやプラグにホコリが付いた状態で長時間使用すると

配線がショートを起こし出火することがあります。

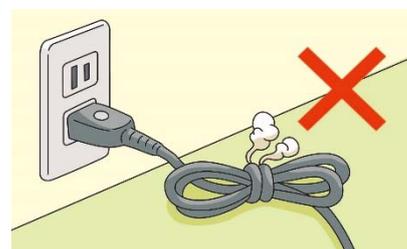
コンセント、プラグの禁止事項



電気コードには使用できる電力量があり、その許容量を超えると熱を持ち、火災になることがあります。



電気コードが家具の下敷きになっているとショート等の原因となり、火災が発生することがあります。



コードを束ねることで熱がたまり、被覆が溶けて火災の原因となることがあります。

【コード・コンセント対策】

- コードがカーペットや家具の下敷きになっていない。
- コードを束ねたまま使用していない。
- たこ足配線をしていない。
- コンセントやプラグにホコリがたまっていない。
- 劣化が進んだ古い家電製品やコード、プラグを使用していない。

住宅防火対策・・・ストーブ火災

ストーブの上に洗濯物を干すのはやめましょう。



ストーブの上に干された洗濯物



ストーブに洗濯物が落下



一定時間経過後、出火

ストーブからは適切な距離をとり、就寝前にスイッチを切りましょう。



布団の真横で電気ストーブを使用

製品評価技術基盤機構より写真提供



寝てしまい、寝返りをうった時に、布団がストーブに接触



一定時間経過後、ストーブとの接触部分から出火

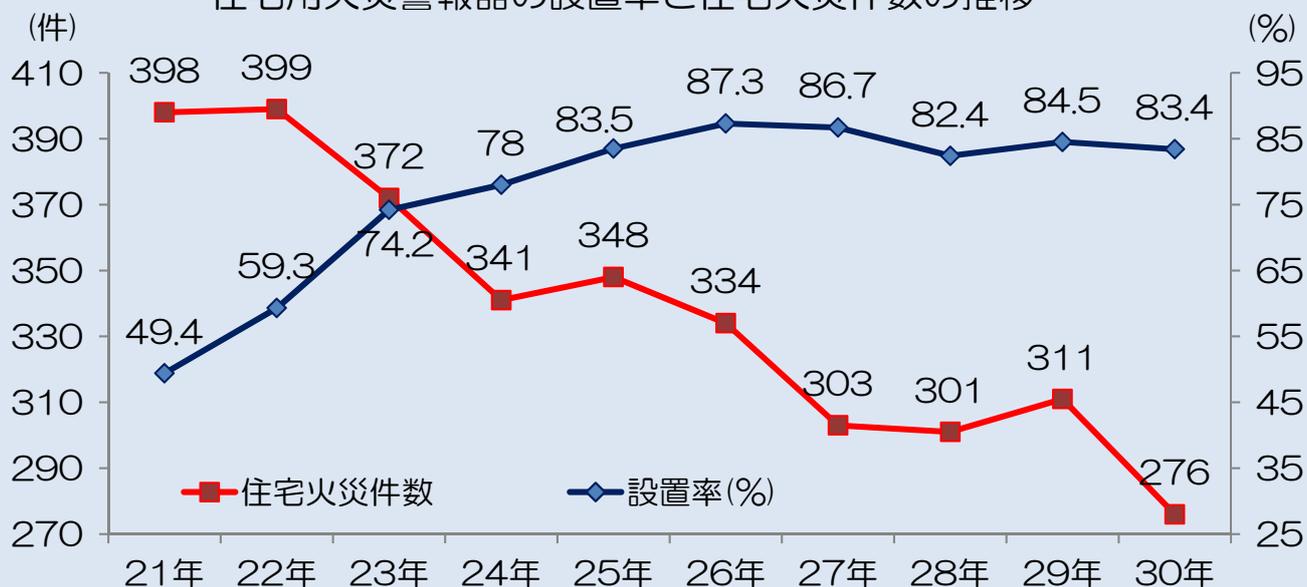
【ストーブ火災対策】

- ストーブの上に洗濯物を干していない。
- ストーブの周りに燃えやすい物を置いていない。
- ストーブを使用したまま寝ていない。
- 石油ストーブの使用中に給油をしていない。
- ストーブの近くではスプレー缶を使用しない。
- 電気ストーブを使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いている。

火災を防ぐために・・・住宅用火災警報器

- ・火災で亡くなる方の原因は、逃げ遅れによるものが大半です。
火災の早期発見と未然防止のため住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移



日頃から機器の掃除や点検をしましょう。

- ・住宅用火災警報器は取り付けしている間に感知部分にほこりが付いたり、台所に設置してある場合は油や煙で汚れて、火災を感知しにくくなることがあります。

◆点検方法について

- ① テストボタンを押すか引きひもを引っ張ります。
- ② 警報音（ブザーや音声）を確認します。

※警報音が鳴らない場合、電池切れや故障の可能性あります。



10年経ったらとりかえましょう。

- ・古くなった警報器は、電池の消耗や部品の劣化が考えられるため、10年経ったら取り替えましょう。



10年経ったら、
とりかえよう。

火災を防ぐために・・・Siセンサーコンロ

全てのバーナーに安全センサーを搭載したコンロです。



Siセンサー付きのバーナー

Siセンサーコンロの主な特徴

- ・煮こぼれなどで火が消えると、ガスを遮断する「立ち消え安全装置」
 - ・油の温度が250℃になると自動的に消火して油の発火を防ぐ「調理油過熱防止装置」
 - ・コンロと魚焼きグリルの火を一定時間で消火する「消し忘れ消火機能」
- これらの機能で万が一火を消し忘れても、火災を防いでくれます。

火災を防ぐために・・・住宅用自動消火装置

・火災の熱を感知して、自動で液体や粉末の消火薬剤を放射する簡易な消火装置です。「レンジフード設置型」、「壁面設置型」、「天井設置型」などがあります。



ストーブから出火
センサーが熱を感知



出火から約1分後、
薬剤放射



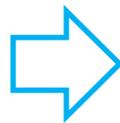
消火成功

札幌市消防局消防科学研究所より写真提供

火災で命を落とさないために・・・初期消火

住宅用消火器の使い方を知っておきましょう。

- ①まず隣近所に「火事だー！」など大きな声で火災を知らせ、協力を求めます。
- ②燃えているものを確認できる安全な位置まで消火器を運びます（消火を失敗してしまったときのために、必ず、逃げ道を確保しておきましょう。）。
- ③消火器の黄色い安全栓を上引き抜きます。



- ④ホースを外し、ノズルの先をしっかりと持って火元に向け、レバーを握ります。（レバーが硬いときは消火器を置いてレバーを上から押します。）



- ⑤ほうきで履くように、実際に燃えている物に薬剤を噴射してください。



チェックポイント

- 放射距離は、3～5メートル、放射時間は12～15秒くらい
- 天井に火が達してしまったら、消火をあきらめて避難しましょう。

火災で命を落とさないために・・・安全な避難

①最も危険なのは煙です。

- 火災による死者の大半は、煙を吸って意識がなくなり逃げ遅れてしまった人です。
- 煙の中を避難する時は、煙を吸わないことが大切です。



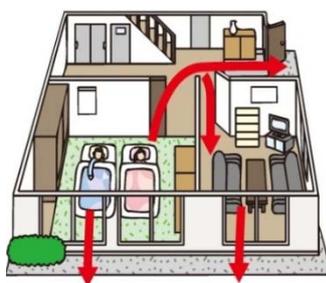
- 煙は上(天上)からたまり、初めは下(床)の方ほど薄いので、できるだけ低い姿勢ですぐに外へ避難します。



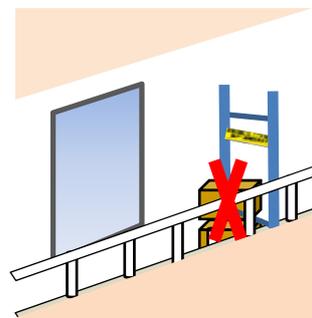
②避難をしたら

- 逃げ遅れた人がいる場合は、近くの消防隊員に必ず伝える。
- 一度外へ逃げだしたら、再び中には戻らない。

③日頃からの対策



普段から避難経路を確認しておきましょう。



共同住宅のベランダには、有事の際、隣に避難できる仕切り版があります。いざという時のために、避難経路には物を置かないようにしましょう。

火災で命を落とさないために・・・確実な119番通報

～慌てずに落ち着いて、正しく情報を伝えることが重要です。～

「119」をプッシュ

消防司令センター

火事です。

119番消防です。
火事ですか、救急ですか？

〇〇区〇〇町〇丁目〇番地〇〇号の〇〇です。
〇〇の目の前です。

消防車が向かう住所はどちらになりますか？

近くに目標物があれば、
それでも構いません。
例：〇〇バス停の目の前です。

〇〇で〇〇が燃えています。

どこで、何が燃えていますか？

燃えている場所、物を伝えます。
例：自宅、台所のお鍋から火が
出しています。

横浜 太郎です。

あなたのお名前を教えてください。
消防車が向かいます。

横浜市民防災センター

楽しく学んで
しっかり備える

・知識豊富なインストラクターが案内する無料の体験ツアーや体験プログラムを通じて、「自分の命を守る自助意識」、「お互いに助け合う共助意識」をしっかりと学べる施設です。

【基本情報】開館時間 9:15～17:00
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始
TEL045-411-0119 FAX 045-312-0386
E-mail sy-kengaku@city.yokohama.jp

